

小学校

s 2-6

三角形と四角形

2学年

【ねらい】

三角形や四角形について理解する。

【特徴】

- ◇ 頂点を自由に決めて、三角形を提示することができます。
- ◇ 3辺を選んで三角形を提示するとき、成立しない条件を選択することができます。

【関連する単元】

- ◇ 小学3年「三角形と角」



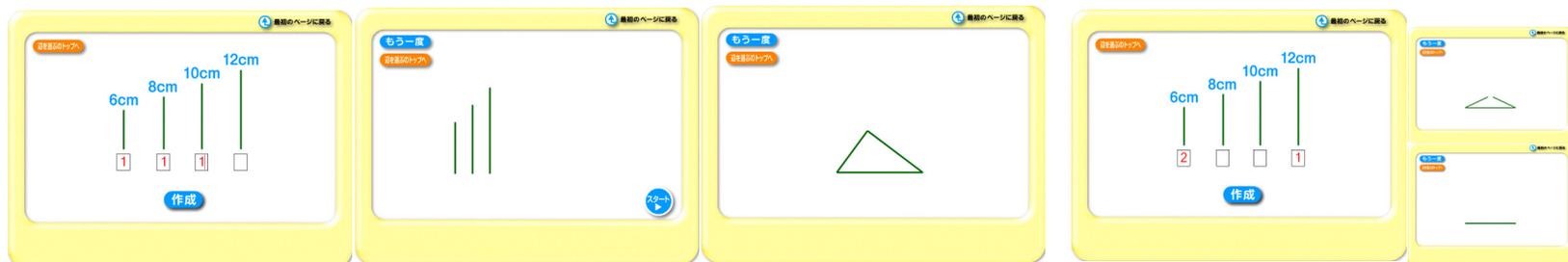
【活用場面】 導入段階の課題提示、算数的活動の後の検証



三角形・四角形の定義の理解を促します

点を取り、囲む操作を、何回も繰り返してできるため、より深い三角形・四角形の定義の理解を図ることができます。

- ◇ スクリーン(ホワイトボード)に、囲みを入れたたい対象物をつけます。
 - ◇ どのように点をとれば対象物を囲むことができるか、考えさせます。
 - ◇ 実際に児童に点の位置を決めさせたあと、線を引いて図形を提示し、児童自ら直線で囲むなどの算数的活動へつなげます。
- ※ 点を一直線に並べた場合、三角形・四角形が成立しない場合があることを知らせることができます。



図形について、構成要素に着目して、自ら考える児童を育みます

4種類の長さから辺を選択し、複数の三角形・四角形の組み上がる様子を提示することができるだけでなく、成立しない場合も提示することができるため、辺や頂点などの構成要素により着目して図形をみる児童を育むことができます。

- ◇ 点を結び、三角形や四角形をつくとといった算数的活動のあと、まとめや振り返りで完成したときの形を想像させながら提示します。
- ◇ 6cm × 2、12cm × 1を選択し、上記同様の活動の後提示し、条件によっては成立しない場合もあることを知らせます。